

2. 調査概要

2.1. 調査項目

調査項目は大きく「回答者基本情報」「情報」の授業について「学校の情報化について」の3項目で構成されている。

「回答者基本情報」では、回答者の教員歴や出身学部といった回答者自身の基本情報だけでなく、所属している学校についても質問している。「情報」の授業についてでは、各学校でどのような履修形態・内容で授業が行われているか、各授業内容について回答者（＝教員）自身はどのように考えているかを質問している。

「学校の情報化について」では、勤務校の情報機器・ネットワーク管理の対応状況や、研修会などへの参加状況、希望内容などを質問している。

図表 II.2.1-1 調査票の構成

大項目	小項目	アンケート 設問番号
I. 回答者基本情報		
	勤務校の学校区分	I-1
	勤務校所在地	I-2
	勤務校の学科	I-4
	担当授業の教育課程	I-5
	回答者の職位	I-6
	回答者の出身学部	I-7
	教員歴	I-8
	「情報」指導歴	I-9
	「情報」以外の担当教科	I-10
	「情報」の免許取得方法	I-11
	情報以外に担当している教科	I-12
	勤務校の「情報」教員数	I-13
II. 「情報」の授業について		
	「情報」開講状況	II-1
	高校入学時の情報スキル	II-2
	学習内容の「実施の有無」「重要度」「指導の自信」	II-3
	教科書以外の教材の利用状況	II-4
	授業に関する情報の収集方法	II-5
	授業の充実・発展のために配慮すべきこと	II-6
	大学入試科目における「情報」について	II-7
	「情報」に対する周囲の理解	II-8
III. 学校の情報化について、その他		
	学校内の情報機器の管理と他教員への対応	III-1
	情報教育研修会の認知と参加状況	III-2
	イベントの参加状況	III-3
	研修会に対する評価	III-4
	大学・企業が求めることの認知	III-5
	「ITパスポート試験」の認知と受験推奨意向	III-6
	「情報」に対するご意見	III-7

※ I-3 は、データ確認用の設問

2.2. 調査方法

インターネットアンケート形式で行うことを原則として、学校側の事情と回答率の向上を考慮して、Excelシートでのメール回答方式も用意した。

回答者には、回答依頼時に紙媒体での調査票を配布することで、事前に調査内容に把握できるよう配慮した。

2.3. 調査対象者及び回答者の募集について

現在、高等学校及び中等教育学校で「情報」を教えている教員を対象とした。

対象者に対しては、国公立高等学校・中等教育学校学校長を経由して“「高等学校等における情報教育の実態に関する調査」へのご回答のお願い”を郵送配布し、回答を依頼した。

回答者は、依頼書にあるアドレス (<http://www.cec.or.jp/ict/enquete.html>) から今回の調査にあたり設置したWebページにアクセスし、アンケートに回答することとした。

併せて、都道府県教育委員会高等学校教育主管課長へは“「高等学校等における情報教育の実態に関する調査」へのご支援のお願い”文書を郵送し、支援を求めた。

2.4. 調査時期

2009年2月13日（金）～2月27日（金）

2.5. 回収回答について

調査票の有効回答数は1,938件（依頼数4,980件、回収率38.9%※）である。

※依頼は学校単位で行っているが、アンケートは個々の教員が回答しているので、回収率は参考値である。